2019女子ハンドボール世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019

戦況用紙

開催日	２０１９年　１２月　３　日　　火　曜日	試合コード	＃２６
開催地	（都道府県名）　熊本県	会場名	アクアドームくまもと

	A	スコア			B
結果	スロベニア	24	前 半	33	アンゴラ
			１２―１６		
			後 半		
			１２―１７		
			第一延長前半		
			―		
			第一延長後半		
			―		
			第二延長前半		
			―		
			第二延長後半		
			―		
			7mc		
	SLO		―		ANG
			―		

戦況	見出し	アンゴラ、試合の流れを掴み、初勝利をあげる。
	前半	グループＡも中盤に差し掛かり、各チーム本日が3戦目の勝負所。SLOは初戦NEDに対し粘り強く戦い勝利したが、昨日のNOR戦は固いDFを崩しきれず惜敗。1勝1敗となった。方やANGは初戦SRB、昨日の2戦目NEDと自分たちのペースに持ち込めずに2敗。2次リーグに進出するために両国どちらも落とせない大事な一戦である。先取点はSLO、NO19のサイドシュート、続けてNO10のステップシュートが決まり２－０とする。直後にANG、NO3のミドルシュートで初得点。その後はSLO、バックプレーヤーNO6のミドルやカットイン、ANG、NO10のポストシュートとお互いに得意のプレーに持ち込み、一進一退の展開となる。試合が動いたのは19分。７－７の同点から、直前のSLOの退場で得たパワープレーを活かし、ANGが3連続得点し、１０－７とする。たまらずSLOはTOを取り、立て直しを図る。これが功を奏し、1点を返し、１０－８。しかしANGは前半終了まで自分たちのペースを崩すことなく１６－１２、4点リードで折り返す。
	後半	突き放したいANG、点差を詰めて逆転を狙うSLO、後半最初の得点はSLO。しかし、すぐさまANGは連続得点し、SLOに反撃の糸口を掴ませない。追いつきたいSLOであったが、シュートがGKのナイスセーブに阻まれたり、バーに当たったり、あるいは細かなミスも重なり、得点できない。逆にANGが自分たちの得意のパターンで得点して流れを引き寄せ、徐々に点差を広げていく。その後も最後まで自分たちのリズムで攻撃を組み立てたANGがSLOを振り切り、初勝利をあげた。ANGの個々のプレーヤーの身体能力の高さと、自分たちのペースに持ち込んだ時の強さが遺憾なく発揮された一戦であった。

Hand in Hand 1つのボールが世界を結ぶ

戦況作成者	岩崎　和彦